

第10回地域 × スポーツクラブ産業研究会



資金調達における 寄付金とふるさと納税の 有用性についての検討

新しいあたりまえを、すべての親子に。

Florence

認定NPO法人フローレンス

はじめに



新しいあたりまえを、すべての親子に。

Florence

認定NPO法人フローレンス

A photograph of a family of three sitting on the grass in a park. A man with glasses and a woman are smiling and hugging a baby who is sitting between them. The background shows trees and a fence, suggesting an outdoor setting. The text is overlaid on the image in white.

ビジョン：目指す社会像

みんなで子どもたちを抱きしめ、

子育てとともに何でも挑戦でき、

いろんな家族の笑顔があふれる社会



フローレンスのミッション

親子の笑顔をさまたげる

社会問題を解決する



訪問型病児保育

2017年に累計50,000件の病児保育実績を突破。
ひとり親支援も10年でのべ950名をサポート。



小規模保育

2010年、待機児童問題解決のモデルとして
小規模保育所「おうち保育園」を開園。

2015年に国の認可制度となってから、
2017年には全国3,500ヶ所まで拡大。

事業者としても東京、仙台で16園を運営。



障害児保育

障害児保育園ヘレン（6園）、障害児訪問保育アニーの2つのサービスを通じて、これまでに88名のご家庭に保育を提供している。

2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019

フローレンスの起こした主なソーシャルアクション

イクメンプロジェクトに参加、「イクメン」がブーム

休職預金法案成立に向けた政策提言開始

保育士試験を年1回・1年2回へ

休職預金法案成立

児童扶養手当の金額アップ

子ども虐待防止記者会見と署名運動実施

特定非営利活動法人内閣府認証取得

病児保育事業



病児保育事業

東京都中央区・江東区にて全国初の共済型・自宅訪問型の病児保育事業「フローレンスの病児保育」を開始



病児保育事業

「寄付によるひとり親実働プラン」適用のための個人寄付会員（サポート隊員）募集開始



みらいの保育園事業

東京都江東区に小規模保育園「おうち保育園」のため、開園



みらいの保育園事業

小規模保育園が制度化され認可事業へ

みらいの保育園事業「みんなのみらいをつくる保育園」開園

被災地支援事業

2011年 東日本大震災

病児保育事業
東京都23区全域に病児保育の提供エリアを拡大

被災地からの避難家庭の支援事業「避難家庭一時保育サポート」を開始。
被災地の中高生向け職業学習支援「希望のぞこ」を開始。
福島の子どものための屋内公園「ふくしまインドアパーク 郡山」開園。

障害児保育事業

日本初の医療的ケア児に特化した訪問保育事業「障害児訪問保育アニー」開始

障害児保育事業

改正障害者総合支援法にて初めて「医療的ケア児」の記載

障害児保育事業

障害児保育事業

東京都杉並区に日本初の医療的ケア専門の保育園「障害児保育園ヘレン」を開園

赤ちゃん縁組事業

妊婦で悩んでいる方の相談窓口「にんしん・養子縁組相談」開設

赤ちゃん縁組事業

特別養子縁組あっせん法成立

フローレンスが取り組むSDGs

1 貧乏をなくす (SDG1)

5 ジェンダー平等を實現する (SDG5)

8 豊かになり、持続可能な成長を促進する (SDG8)

10 人や国の不平等をなくす (SDG10)

“SDGs(持続可能な開発目標)”は、2015年9月に「貧困に終止符を打ち、持続可能な未来を造る」ということを掲げて国連総会で採択された世界共通の目標です。2030年までに地球規模の課題を解決するべく、17の目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットが定められています。



東京都より「認定特定非営利活動法人」(認定NPO法人)取得

2015年、フローレンスの病児保育をモデルにした「37.5°Cの涙」TVドラマ化

こども宅食事業
文京区にて「こども宅食」配食開始

こども宅食事業

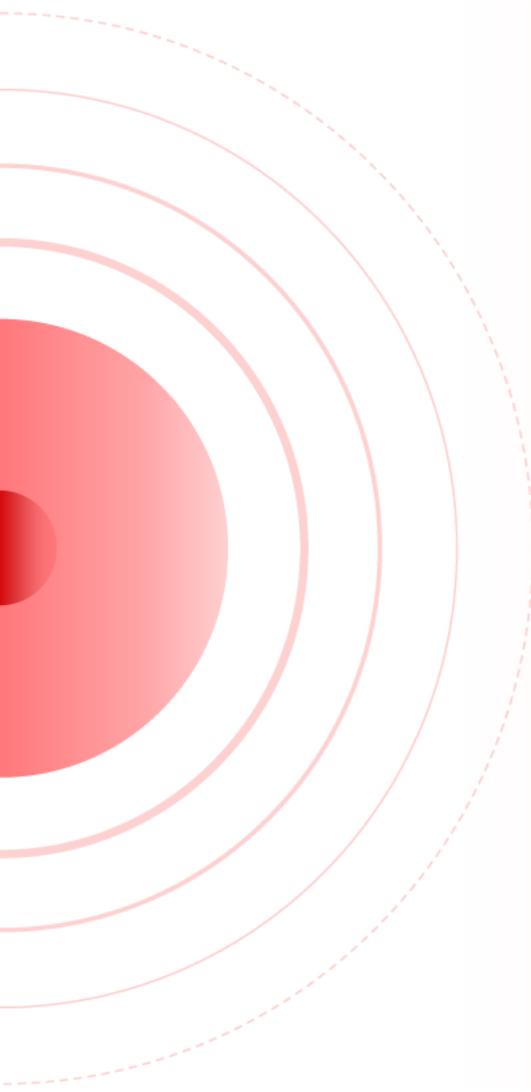


病児保育事業
江東区にて病児保育拡大を求める記者会見



病児保育事業
障害や慢性疾患がある子どもも預かり可能な、訪問看護つき「発達支援プラン」を開始





ストラテジー：社会問題解決のための戦略

社会問題を事業によって解決する

- 社会問題への「小さな解」を、事業として生み出す
- 政治や行政と共に
「小さな解」を政策にし、全国に拡散する
- 自らも最良の事業者として、
インフラを創造し、最後の一人まで助ける



収益

30億円以上

寄付金収入は2億4500万円。全体の8%程度となっている。

営業外収益 13%

[379百万円]

1% [15百万円]

その他収益

8% [245百万円]

寄付金収益

4% [118百万円]

助成金収益

営業収益 87%

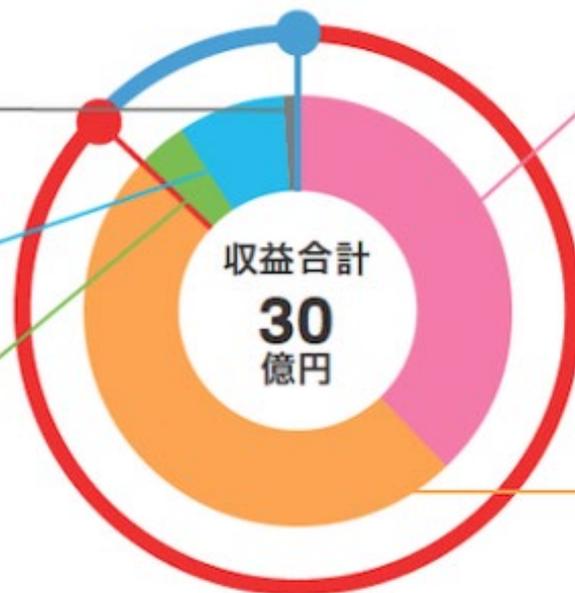
[2,634百万円]

38% [1,156百万円]

自主事業収益

49% [1,477百万円]

補助事業収益



追い詰められるその前に。命をつなぐ「こども宅食」で親子の笑顔を守りたい

カテゴリ：子ども・教育



達成!

寄付金額

56,933,257円

114.3%

目標金額：49,800,000円

達成率	支援人数	終了まで
114.3%	1,398人	90日 / 363日

📍 東京都文京区（とうきょうと ぶんきょうく）

親子のSOSが見落とされない社会をつくる。命をつなぐ「こども宅食」を全国に広げたい

カテゴリ：子ども・教育



達成!

寄付金額

48,210,165円

160.7%

目標金額：30,000,000円

達成率	支援人数	終了まで
160.7%	898人	90日 / 335日

📍 佐賀県NPO支援（さがけん えぬびーおーしえん）

ふるさと納税
1億円以上



本日のテーマについて

寄付を

集める

使う

管理する

ふるさと納税の特徴・使い勝手

寄付を

集める

使う

管理する

ふるさと納税の特徴・使い勝手

寄付を集める

- 寄付で集める「根拠」と寄付に見合う「成果への期待」が必須。
- 事業広報のノウハウとリソースは必須。
- SNS活用やWeb上の動線設計、適切な広告設計など
Webマーケティングの知識、スキルもないと厳しい。
- 立ち上げ時は新規寄付者獲得のための大々的な広報施策、
継続時はこれに加えリピーター獲得のための施策も必要になる。

寄付を

集める

使う

管理する

ふるさと納税の特徴・使い勝手

寄付を使う

- 基本的には使途が指定されていなければ自由に使える。
- ただし、会計報告など適正に使っているかの説明は必要。
- ただし、広報や次の寄付の獲得のためにも寄付者にとって納得感の高い使途である必要はある。

寄付を

集める

使う

管理する

ふるさと納税の特徴・使い勝手

寄付を管理する

- 情報が届いた接点から寄付につながる入り口を設計する
(Webで完結、多様な決裁方法に対応など)
- 入金後は寄付者の個人情報と寄付額を適切に管理する。
(寄付控除対応のため領収証発行、問い合わせ対応など)
- 定期的な活動報告をして次の寄付獲得につなげる
(メールマガジンの発行、寄付者報告会の開催など)

寄付を

集める

使う

管理する

ふるさと納税の特徴・使い勝手

ふるさと納税の財源としての特徴

1. 通常の寄付よりも寄付単価が高い
2. 固定層を掴みづらく、財源として安定性が低い
3. 年1回、12月入金が大半で、金額の見通しが立ちづらい
4. 通常のふるさと納税の豪華な返礼品が競合となる。
5. GCF参加自治体が増加し、競争が激化している

ふるさと納税の使い勝手

- ふるさと納税を集めた後に、自治体からの補助金として受け取ることになるので資金としての自由度が低い
(事業の状況に応じて用途を変えるのが難しい)
- そもそも交付先として自治体に限られることが難しい
(自治体との関係性や事業の公益性などが関わってくる)
- 自治体によっては寄付者の個人情報や民間団体に渡せないところがあり、寄付者と直接コンタクトが取れない場合がある
(寄付者にお礼や次の寄付の依頼をすることができない。高額寄付者であっても！)



まとめ

1

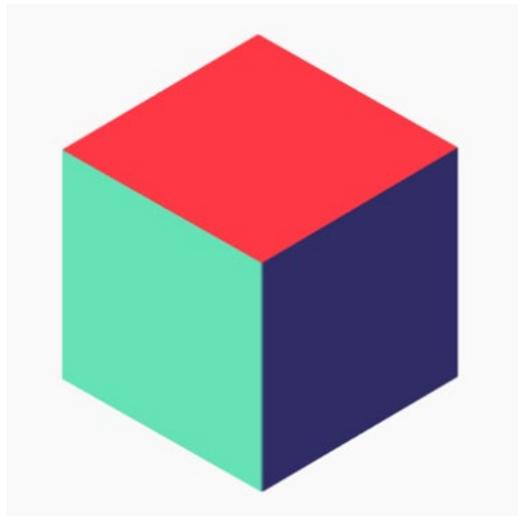
寄付金もふるさと納税も獲得するためには、
寄付で集めるための大義名分とそれを社会に伝えるための
一定のノウハウや経験、リソースが必要である。

2

ふるさと納税は財源としては不安定で、確実性が低い。
また、使い勝手についても課題は多く、事業として
やりたいことを自由にやるための財源としては利用しづらい。

3

寄付にしても、ふるさと納税にしても、最初の接点から次の寄付につながるまでの動線設計が必須。そのためには、Webマーケティングの知識、ノウハウや管理フローの設計が必要。



本日はありがとうございました！

新しいあたりまえを、すべての親子に。

Florence

認定NPO法人フローレンス